

【農園を楽しむためのポイント】

農園をより楽しむために、4つのポイントに注目しました。

- 観察する** 授業や研究で活用しよう！
環境教育の内容・方法研究、授業のた
めの実験などに使用できます。季節に
よって観察できる植物が異なります。
- 体験する** 12種竹味覚や香りを味わう！
食べられるもの、物が豊富にあります。
五感で味わう植物も豊富です。
研究のための収穫体験も可能です。
※収穫には計画・申請が必要です。
- 散策する** 気分転換に季節を感じよう！
食べられるもの、物が豊富にあります。
植物や昆虫、四季に合わせて農園の表
情は変化します。農園内は散策すると、
たくさんの発見があるはずですよ。
- 素材を集める** そのぐくみの素材が豊富！
理科の実験はもちろん、園芸・美術、
社会、国語など、教材やもの
づくりに応用できる素材があります。

農園の植物見ごろ早見表

植物名	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
クマ	見ごろ											
ハナミズキ科												
クワリ												
チヤノキ												
コソカゲ												
スイレン												
ハイビスカス												
アモ												
ブルーベリー												
キンモクセイ												
アネモ												
ヒメクリム												
クマギ												
ソウカン												
クマツ												
スズキ												
ミカン												
モミジ												
カキ												
ユズ												
クマ												

【この表の読み方】

- 花期
- 結実期
- 収穫期
- 見ごろ

農園とは?

環境教育研究センターにある、教材植物園（愛称：農園）のことです。環境教育の研究を目的として整備された場所で、東京学芸大学の北西エリアに位置します。入り口から緩やかなアーチを描く遊歩道に沿って進むと、手入れされた田畑や果樹園、温室などが目の前に広がります。農園では、大学の学生、先生はもちろん、地域の方々、近隣学校・施設のみならず、有意義に活用していただけるように、さまざまな植物を育てています。

農園の歩き方



東京学芸大学 環境教育研究センター
教材植物園

【ご利用の注意】

- 農園を使用する場合には、事前に所定の手続きを行ってください。
- 農園の施設・器具等を利用できるのは、東京学芸大学の職員と大学院生です。その他の学生や生徒、地域の方は、必ず許可を得て利用してください。
- 農園での事故、器具の扱いは、ご自身の責任で行い、十分に注意して活動してください。

【環境教育研究センター】

環境教育の内容・方法などに関する研究とその普及を図ることを目的とし1994年に附属野外教育実習施設（1987年設置）から改組、拡充されました。現在、専任教員4名を中心として、「環境教育研究部門」「野外教育部門」の2部門を、学部や附属学校の兼任教員（23名）とともに運営しています。学部学生に対しては、F類環境教育課程環境教育専攻の教室運営に関わり、フィールド体験を重視した多彩な授業を提供しています。また、大学院総合教育開発専攻環境教育サブコースの運営にも関わり、現職教員はじめ社会人を対象として環境教育の理論と応用研究を進めています。他にも、学校や地域と連携しながら、環境教育に関連した様々なプロジェクト事業を行っています。

